

## 病院

478 万円の赤字

病院機能評価を受審し、更新

問い合わせ 川西病院経営企画課 ☎(794)2321

収益的収支（事業活動のための経費とその財源）は表 1 の通り。事業収益（収入）が 56 億 7,544 万円、事業費用（支出）が 56 億 8,022 万円で、478 万円の純損失になり、累積欠損金は 62 億 7,309 万円になりました。また、資本的収支（医療機器購入費や施設整備などの経費とその財源）は、資本的収入が 1 億 4,141 万円、資本的支出は 1 億 7,453 万円で、収支不足額 3,312 万円は、一時借入金で措置しました。財政状

態は表 2 の通りです。

延べ患者数は、入院患者が 6 万 9,745 人、外来患者が 10 万 3,192 人。診療収益は、開業医との連携強化や救急搬送患者の積極的受入れなどに取り組みましたが、入院収益で、手術件数が減ったことなどから入院診療単価が減少し、前年度に比べ減収となりました。

事業費用は、病院職員の県市町村職員退職手当組合負担金の負担率が減ったことや、一般会計からの支援の充実で、前年度と比べ、赤字額を 1 億 1,318 万円減少できました。しかし、27 年度に策定した市立川西病院経営健全化計画の 29 年度計画値には届きませんでした。

29 年 5 月に（仮称）「川西市立総合医療センター」構想（案）を公表し、3 月には指定管理者が決定しました。また、1 月に病院機能評価を受審し更新。急性期病院として良質な医療を提供し、地域医療支援病院の役割を担う病院事業を展開します。

表 1 病院事業損益計算書

(29年4月1日～30年3月31日)

支 出		収 入	
人 件 費	32億5,859万円	入 院 収 益	31億 506万円
材 料 費	9億4,289万円	外 来 収 益	11億 291万円
経 費	10億1,985万円	他会計負担金 および交付金	11億 244万円
減 価 償 却 費	2億4,714万円	長 期 前 受 金 戻 入	1億4,751万円
支 払 利 息	1,163万円	そ の 他 の 収 入	2億1,752万円
そ の 他 の 支 出	1億9,775万円	特 別 利 益	—
特 別 損 失	237万円	小 計	56億7,544万円
小 計	56億8,022万円	当 年 度 純 損 失	478万円
当 年 度 純 利 益	—	合 計	56億8,022万円
合 計	56億8,022万円		

表 2 病院事業貸借対照表

(30年3月31日現在)

借 方	貸 方
土地、建物、器械備品、投資など固定資産 27億 878万円	企業債、他会計借入金、退職給付引当金など固定負債 52億9,770万円
	一時借入金、未払金、賞与等引当金、預り金など流動負債 16億9,381万円
	繰延収益 8億1,786万円
現金預金、未収金、貯蔵品など流動資産 7億1,542万円	資本金 1億1,018万円
	国庫補助金など資本剰余金 17億7,774万円
	欠損金 62億7,309万円
合計 34億2,420万円	合計 34億2,420万円

## 水道

3 億 6,597 万円の黒字

配水池築造工事などに 7 億 5,732 万円

問い合わせ 上下水道局経営企画課 ☎(740)1261

収益的収支（事業活動のための経費とその財源）は表 3 の通り。総収益（収入）が 34 億 5,863 万円、総費用（支出）は 30 億 9,266 万円で、3 億 6,597 万円の純利益になり、前年度からの繰越利益剰余金 14 億 2,025 万円を合わせると、未処分利益剰余金は 17 億 8,622 万円になりました。このうち、3 億 4,000 万円を建設改良積立金として積み立てた結果、翌年度繰越利益剰余金は 14 億 4,622 万円になりました。

資本的収支（水道施設の建設改良などのための経費とその財源）は、資本的収入が 5 億 2,094 万円、資本的支出が 8 億

5,349 万円でした。また、4 条非課税売上に対応する課税仕入分 28 万円を控除後の不足額は 3 億 3,283 万円になり、過年度分損益勘定留保資金（現金支出を伴わない減価償却費などで内部に留保された資金）で補てんしました。財政状態は表 4 の通りです。

30 年 3 月 31 日現在の給水人口は 15 万 8,091 人、1 日平均の配水量は 4 万 3,068 立方メートルです。また、年間有収水量（収益となった水量）は約 1,509 万立方メートルで、有収率は 96% となりました。

安全な水を安定供給するため、改良・5 期拡張工事に取り組み、水質管理の充実に努めました。改良工事では、配水池の改修工事、配水管の改良・敷設替工事などを 4 億 9,916 万円で実施。5 期拡張工事では、配水池築造工事、配水管布設工事などを 2 億 5,816 万円で実施しました。

今後も、主要幹線施設や老朽化した管の更新、また、耐震化対策などに取り組み、料金収入が減少していく中、経営の効率化や経費を削減し、健全経営に努めるなど、市民の皆さんから信頼される水道をめざします。

表 3 水道事業損益計算書

(29年4月1日～30年3月31日)

支 出		収 入	
受 水 費	11億6,574万円	水 道 料 金	28億8,391万円
減 価 償 却 費	5億3,064万円	分 担 金	1億2,096万円
人 件 費	3億5,727万円	長 期 前 受 金 戻 入	1億8,311万円
修 繕 費	3億7,935万円	特 別 利 益	1億4,507万円
委 託 料	3億1,926万円	そ の 他 の 収 入	1億2,558万円
動 力 ・ 薬 品 費	4,946万円	小 計	34億5,863万円
支 払 利 息	4,142万円	当 年 度 純 損 失	—
そ の 他 の 支 出	2億4,952万円	合 計	34億5,863万円
小 計	30億9,266万円		
当 年 度 純 利 益	3億6,597万円		
合 計	34億5,863万円		

※修繕費には材料費・路面復旧費を含みます

表 4 水道事業貸借対照表

(30年3月31日現在)

借 方	貸 方
土地、建物、構築物、ダム使用権、投資など固定資産 196億5,519万円	固定負債 23億7,853万円
	未払金、預り金など流動負債 6億8,212万円
	繰延収益 39億3,453万円
現金預金、未収金など流動資産 47億2,040万円	資本金 55億1,083万円
	受贈財産評価額、国庫補助金など資本剰余金 90億6,436万円
	利益積立金 3億4,900万円
	建設改良積立金 6億7,000万円
	当年度未処分利益剰余金 17億8,622万円
合計 243億7,559万円	合計 243億7,559万円

## 下水道

7 億 2,354 万円の黒字

管渠やポンプ場の整備などに 11 億 2,895 万円

問い合わせ 上下水道局経営企画課 ☎(740)1261

収益的収支（事業活動のための経費とその財源）は表 5 の通り。総収益（収入）が 37 億 9,785 万円、総費用（支出）は 30 億 7,431 万円で、7 億 2,354 万円の純利益になり、前年度からの繰越利益剰余金 8 億 8,514 万円とその他未処分利益剰余金変動額 5 億 147 万円を合わせると未処分利益剰余金は 21 億 1,015 万円になりました。このうち、5 億 147 万円を資本金に組み入れ、7 億 1,938 万円を減債積立金として積み立てた結果、翌年度繰越利益剰余金は 8 億 8,930 万円になりました。

資本的収支（企業債償還金や下水道施設の建設改良などのための経費とその財源）は、資本的収入が 10 億 5,841 万円、資本的支出が 23 億 5,483 万円。また、不課税収入（国庫補助金、他会計補助金など）の特定分など 2,189 万円を控除後の不足額は 13 億 1,831 万円となり、当年度分損益勘定留保資金（現金支出を伴わない減価償却費などで内部に留保された資金）などで補てんしました。財政状態は表 6 の通りです。

30 年 3 月 31 日現在の供用開始区域内人口は 15 万 7,932 人、年間有収水量（収益となった水量）は約 1,510 万立方メートルです。

都市の健全な発達と公衆衛生の向上のため、建設改良事業に取り組み、公共用水域の水質保全にも努めました。同事業では、管渠（家庭などから出たトイレや生活雑排水など汚水・雨水を流す下水道管）の整備や雨水ポンプの設備更新などを 11 億 2,895 万円で実施しました。

今後も、安全で快適な暮らしを支えるために、管渠やポンプ設備の長寿命化に取り組み、経営を効率化するなど、持続的で安定的な事業運営に努めます。

表 5 下水道事業損益計算書

(29年4月1日～30年3月31日)

支 出		収 入	
減 価 償 却 費	18億1,368万円	下 水 道 使 用 料	17億6,726万円
負 担 金	5億7,428万円	長 期 前 受 金 戻 入	10億5,306万円
支 払 利 息	2億6,024万円	他会計負担金 および補助金	9億 109万円
人 件 費	1億6,542万円	そ の 他 の 収 入	7,644万円
修 繕 費	1億2,604万円	小 計	37億9,785万円
委 託 料	8,671万円	当 年 度 純 損 失	—
そ の 他 の 支 出	4,794万円	合 計	37億9,785万円
小 計	30億7,431万円		
当 年 度 純 利 益	7億2,354万円		
合 計	37億9,785万円		

※修繕費には材料費を含みます

表 6 下水道事業貸借対照表

(30年3月31日現在)

借 方	貸 方
土地、建物、構築物、機械および装置、施設利用権など固定資産 397億1,788万円	固定負債 124億9,183万円
	未払金、預り金など流動負債 19億5,491万円
	繰延収益 191億3,273万円
現金預金、未収金など流動資産 29億9,941万円	資本金 51億8,860万円
	受贈財産評価額、国庫補助金など資本剰余金 9億5,707万円
	減債積立金 8億8,200万円
	当年度未処分利益剰余金 21億1,015万円
合計 427億1,729万円	合計 427億1,729万円

